

宇部幸楽苑広報紙

幸 楽 苑 だ よ り



6月号

発行元：介護老人保健施設 宇部幸楽苑
 発行日：令和6年 6月1日
 TEL 0836-51-3113 FAX 0836-51-5522



明るく優しく

敬意をもつて

宇部幸楽苑理学療法士 富田康平



私は幸楽苑に入職して今年で15年になります。

始めは、右も左も分からず、リハビリ職員というのは自分の中のイメージでは、病院で仕事をするもの！と考えており、正直な話をすれば、当時の私は施設で働くということに對してあまり気が進まなかったんです(笑)

理由として言い方が悪いですが、私のイメージは施設では寝たきりの方が多く、リハビリの必要度は低い、またほとんどリハビリをして在宅復帰に導いていく回復期病棟のリハビリに比べれば、そのような対象者があまりいないのでは？と考えていたからです。

しかし実際は、介護老人保健施設とは医療と福祉の中間施設であり、施設と自宅の橋渡しの存在で、リハビリの重要度もかなり高いと考えております。

その中で私は利用者様と個人で関わる事が多い立場です。利用者様の思いを聞くことが多く、やはり利用者様は慣れ親しんだ自宅に戻りたいと言われる方が多いです。もちろん、ご家族様も出来るなら希望を叶えてあげたいという気持ちはあるとは思いますが、現実に難しいのも事実だと思います。

その中で、自分に何が出来るか、どんなサポートができるかということを考えながら今後もしリハビリを提供していきたいと思えます。

現在は新型コロナウイルス感染症の影響で、ご家族様との外出などは未だに難しい状態ですが、自由に出が可能になった時の為にも、利用者様の動作能力を維持していきたいと思えます。

ご家族が今どんなリハビリをしているのだろうか？リハビリの進行状況はどうなのだろうか？など、気になった事がありましたら、気軽に声をかけていただければと思います。



《基本理念》

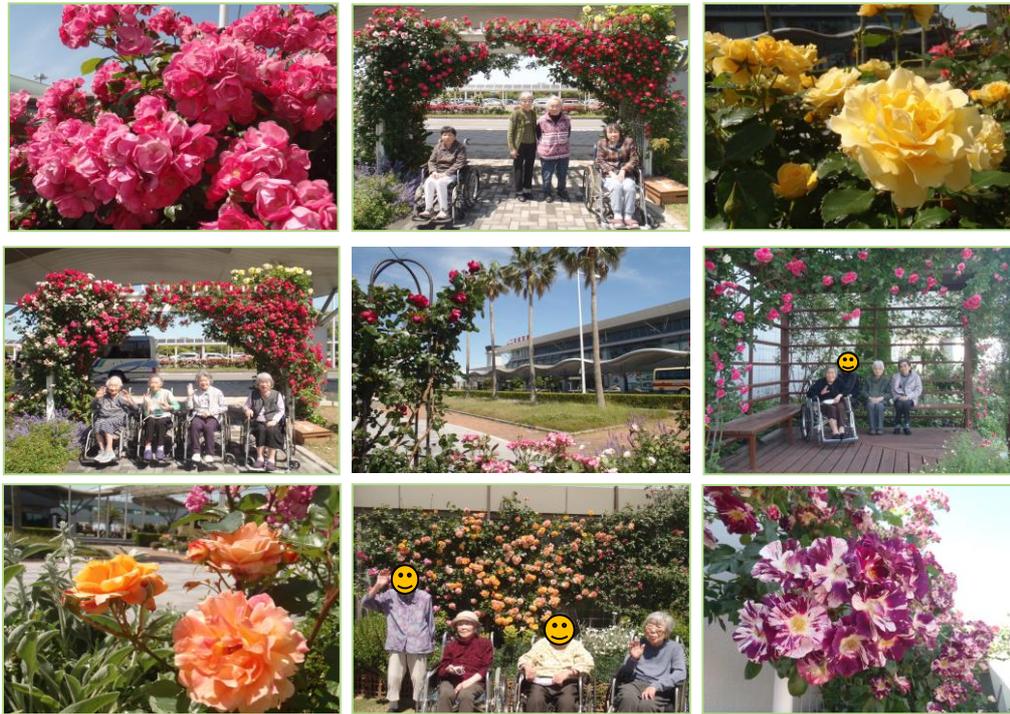
私たちは、介護・医療提供者として、地域社会における利用者並びにご家族の立場に立って考え、最善の行動とサービスを致します。

《運営方針》

- 1.常に笑顔で誠意のある対応を心掛けます。
- 2.説明と同意の実践に努め、納得いただける施設サービスを実施致します。
- 3.人権を尊重し、入所者様・ご家族と共に職員が一丸となって自立生活の支援を致します。
- 4.個人の尊厳とプライバシーの保護に努めます。
- 5.疾病や障害の予防と適切な施設サービスを提供致します。
- 6.地域社会と連携して質の高い施設となるよう努力し、職員は日々研鑽に努めます。

「バラを見に行きました！」

5月の中旬から下旬にかけて宇部空港へ薔薇を見に行きました。天候にも恵まれ、皆様笑顔になっておられました。



【新人職員紹介】

今年、2名の職員が入職しましたのでご紹介いたします。

相談員 田中 真樹

4月から支援相談員として勤務しております。田中と申します。

幸楽苑の明るく穏やかな雰囲気の中で勤務することができ、とても嬉しく思っています。また、経験に裏打ちされた高い専門性と、利用者様を第一に支援されているスタッフの皆様と仕事ができることは、この上もなくありがたいと思っています。まだまだ分からないことばかりで、ご迷惑をおかけすると思いますが、一生懸命に頑張りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

介護職員 清家 いちご

私は要介護の祖母や母の力になりたいくて介護福祉士という仕事を選びました。沢山の介護の知識を身に付けて家族だけではなく、いろんな方々のお役に立てればなと思っています。まだまだ分からない事ばかりですが、一生懸命に頑張りますのでよろしく願います。

「徒然なるままに・・・」

看護師 江口 敦子

入社して数十年、今日まで利用者の皆様と職員に見守られ、育てていただいたと感謝しています。若い頃の私にとって看護師とは、絶対になりたくない職業のワーストワンでした。身近に福祉、医療関係が誰一人おらず知識のないままに入社、全くの素人からの出発でした。一回りも年下の職員に教わることや専門用語を覚える事に、四苦八苦したものです。今となつては素晴らしい職業だと思えます。個人の人生において、日常生活から心のケア、看取りまで全てに関わる職業です。この仕事に出会えたこと、本当に幸せに思います。年齢を重ねても行き届かない点も多い私ですが、これからも皆様と共に精進してまいりたいと思います。どうぞよろしく願います。

